

## 【機械・トレース・建築共通】受験上の注意

1. 試験監督官の指示があるまで決して開けないこと。
2. 試験時間は 80 分とし、データの保存時間も試験時間内に含まれる。  
筆記問題、実技問題のどちらから始めても構わない。
3. 試験問題の内容および解答に関する質問は受付けない。
4. 試験問題、フラッシュメモリ、解答用紙、受験票を持ち帰った場合は、結果の如何を問わず「失格」とする。
5. 受験票は机上の試験監督官の見やすい位置に提示しておくこと。
6. 受験者シールに印字されている受験番号と氏名・TYPE番号を必ず確認し、以下の項目を記入すること。  
使用 CAD ソフト名：Ver は不要（フラッシュメモリ収納袋に貼る受験者シールのみに記入）。
7. 試験問題、フラッシュメモリ収納袋(中央部分に貼る)、解答用紙の所定欄にそれぞれ受験者シールを貼付すること。  
貼付されていない場合は、「採点対象外」とする。
8. 筆記問題の解答用紙はマークシート形式なので、枠からはみ出さないように塗りつぶすこと。
9. 解答は濃い黒の鉛筆（HB 程度）を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに消すこと。
10. その他、試験監督官の指示に従うこと。

### 【採点対象外となる事項】

- 解答枠の「ファイル名」「氏名」の未記入、誤記入
- 「受験者シール」の貼り忘れ
- 「受験申込分野」「保存形式」「使用解答枠」の間違い
- その他、指示された事項に反している場合

## 【建築】受験上の注意

1. 図面用紙、尺度は、**配布図面（A3、1 / 100）**をそのまま使用すること。
2. 単位は全て **mm（ミリメートル）**とする。
3. NAME（受験者名）を正確に記入し、略式記入は行わないこと。「漢字」または「ローマ字」のどちらでも構わない。ただし、**「指定されたレイヤに指定された字高」で記入**すること。  
記入されていない場合は、「採点対象外」とする。
4. 解答枠内の基準線、解答枠の位置を移動・削除および尺度を変更しないこと。  
※作図上必要な修正は行ってもよい。
5. 以下の属性情報については自由に設定しても構わない。
  - レイヤ、図形の色（使用する色に制限や基準はない）
  - 線種の種類（例：「一点鎖線」であれば、どの種類を使用しても構わない）
  - 線種の尺度（線の要素の長さなどの設定に制限や基準はない）※線の太さを設定する必要はない。ただし、適切なレイヤ（線種ごと）に作図すること。
6. 試験問題は、筆記問題が 5 問、実技問題が 3 問、17 頁～ 28 頁の計 12 頁である。
7. 試験問題で使われている図は現尺ではない。
8. 実技問題の解答データは、配布されたフラッシュメモリに保存すること。**データ保存時のファイル名は自分の受験番号（半角英数字）で保存**すること。分野を記入する必要はない。  
**×××××-××××（自分の受験番号）**  
**ファイル名の記入例 10001-1001 など ※数字およびハイフンは半角で記入**すること。  
※**なおファイル名の記入例には、保存時に選択すると自動的に表示される拡張子「.dxf」は記入していない**。指示どおり保存されていない場合は、「採点対象外」とする。
9. ファイルの保存形式は、**DXF 形式で保存**すること。
10. 仕上がり図形以外の図形要素（補助線・下書き線等）はすべて削除すること。ただし、作図上自動生成された「レイヤ」等、図形を含まないレイヤについては、削除しなくてよい。
11. その他、作図条件に従って作図を行うこと。

### 《実技問題》

問：配付した資料および CAD データを利用して、以下の問 1 から問 3 の設問に従って作図しなさい。

#### 《共通の作成条件》

- ・図面用紙、尺度は配付図面（A3、1/100）をそのまま使用すること。
  - ・単位は全て mm（ミリメートル）とする。
  - ・NAME（受験者名）を正確に記入し、略式記入は行わないこと（レイヤは「waku」とし、字高は 1/100 で出力した際に 3.0mm になる大きさとする）。記入は、「漢字」でも「ローマ字」でもどちらでも構わない。
  - ・データ内の基準線、解答枠の位置を移動・削除および尺度を変更しないこと。
  - ・解答枠データ（中間ファイル）を取り込んだ際、レイヤが変更されてしまったものについては、下記名称（ローマ字表記）を参照し、レイヤ設定を行うこと。レイヤおよび線種は設定（下記）に従い描くこと。
- |                |        |      |
|----------------|--------|------|
| ・壁断面           | danmen | 実線   |
| ・建具開記号・OPEN 記号 | kigou  | 一点鎖線 |
| ・通り芯           | kijun  | 一点鎖線 |
| ・文字            | moji   | 実線   |
| ・見え掛り線         | siage  | 実線   |
| ・設備機器類         | setubi | 実線   |
| ・建具            | tategu | 実線   |
| ・解答枠           | waku   | 実線   |

- ・壁厚・柱径・建具等の寸法は、配付図面集より読み取るものとする。
- ・解答枠データ内の供給部品は自由に利用してよい。
- ・断面線と重複する図形要素（床断面線と建具下端の線・天井断面線と家具上端の線など）は全て削除すること。
- ・寸法線、寸法補助線、寸法数値は記入しないこと。
- ・上記のほか、作図に際しては「作図仕様表」の記載に従うこと。
- ・登録図形・ブロック・グループ等はすべて分解したうえでファイルを作成すること。
- ・提出データは「DXF 形式」とする。

### 【問 1】

解答枠の「問 1 解答欄」にある基本図形を利用して LD 飾り棚の姿図および a-a' 断面図・b-b' 断面図を完成しなさい。  
断面図の切断線の位置は、LD 飾り棚詳細図の記載に従うこと。

#### 《問 1 の作成条件》

- ・基本図形のレイヤは変更しないこと。
- ・床断面線と壁・建具の見え掛り線および壁断面線の交点（作図基点）を移動しないこと。
- ・解答欄内にある LD 飾り棚以外の図形は変形・削除しないこと。
- ・寸法は記入しないものとする。

### 【問 2】

配付した資料および CAD データを利用して「LD」の展開図を作成しなさい。展開図は A・D の 2 面を作成するものとし、解答枠の基準線に従って、左から A 面→D 面の順に作図すること。  
展開図の方向および切断位置は、平面図に記載されている展開方向、切断位置とする。切断線は屈曲している場合があるので、切断位置に注意すること。  
（詳細は作図仕様表の記載に従うこと）

#### 《問 2 の作成条件》

- ・外壁および隣接室の断面線（壁・床・天井）は省略すること。ただし、切断位置が開口部に該当する隣接室および外壁の断面線は、作図仕様表の記載に従って作図すること。
- ・仕上げ・寸法・室名等は記入しないこと。

### 【問 3】

配付した資料および CAD データを利用して「A-A' 断面図」を作成しなさい。  
断面図の切断位置は平面図に記載されている位置とし、見え掛りとなる壁面の展開図・立面図も作図するものとする。（詳細は作図仕様表の記載に従うこと）

#### 《問 3 の作成条件》

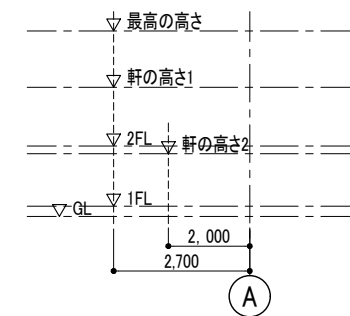
- ・解答枠の▽GL 記号および基準線を利用して各階の基準高さ（▽各階 FL・▽最高の高さ・▽軒の高さ 1・2）を記入すること。（記入に際しては作図仕様表の記載に従うこと。）
- ・解答枠の通り芯記号および基準線を利用して通り芯（A ～ D）を全て記入すること。
- ・室名は記入しなくてよい。

作図仕様表	
室名の記入	記入しなくてよい
基準高さの記入	記入レイヤ=moji 記入位置=右図①による
地盤面の作図について	右図②による
屋根断面の作図について	右図③による
基礎(土台)水切の作図について	右図④による
展開図の作図について	右図⑤による
建具(WD)の枠・脊ズリの見え掛り	建具表記載の形状・寸法による(記入レイヤ=tategu)
壁面見え掛かりの作図	壁面・窓・飾り棚等の家具類も作図すること 設問ごとに下記の条件に従って作図するものとし、 見え掛りの作図を要しない開口部にはOPEN記号を記入する 問2:A面展開図はC通まで、D面展開図は2通まで 問3:A-A断面図は1通まで (OPEN記号のレイヤはkigou)
巾木の作図	巾木を作図すること 右図⑥による
外部建具断面の作図について	作動方式にかかわらず共通断面とする(供給部品による)
PW-6の開キ窓について	開キ窓幅の内観寸法(DW)は、供給図形の寸法による。(570mm)
屋根勾配の表示について	記入の必要はない
その他	解答枠で供給されている図形のレイヤは変更しないで使用すること

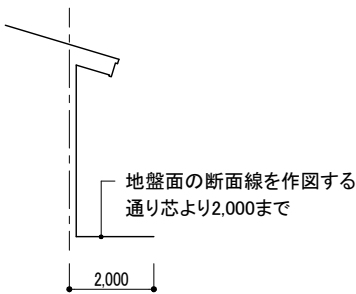
外部仕上げ表			
屋 根	ガルバリウム鋼板 t=0.35 横葺	カーポート	床:コンクリート直ならし
外 壁	防火サイディング t=15 (塗装板)		壁:防火サイディングt=15(塗装板)
ポーチ	磁器質タイル貼 150角		天井:フレキシブルボードt=6.0AEP
		軒天井	フレキシブルボード t=6.0 AEP

①基準高さの記入位置

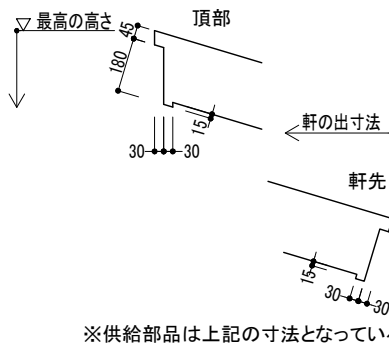
記号(▽)の下頂点を基準線に合わせる



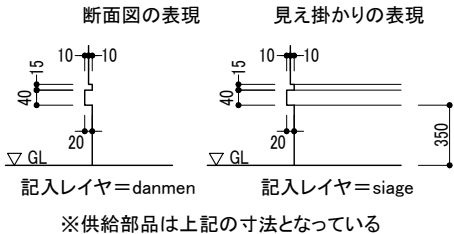
②地盤面の作図



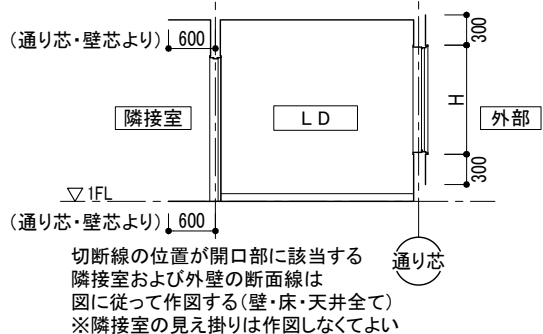
③屋根断面の作図



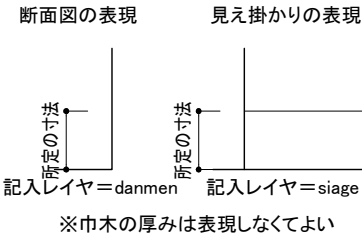
④基礎(土台)水切の作図



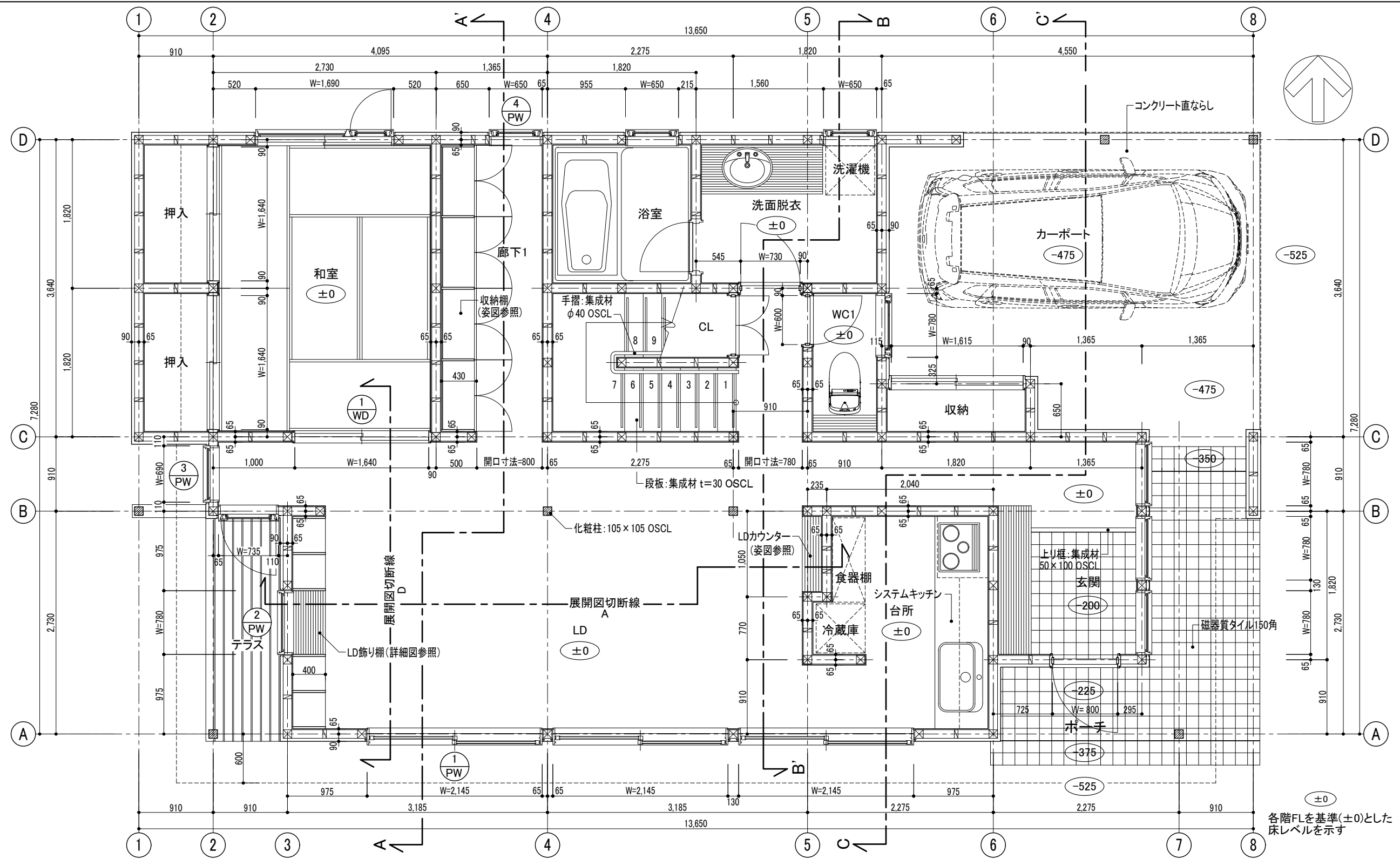
⑤展開図の作図



⑥巾木の作図



内部仕上げ表									
階	室 名	床		巾 木		壁	天 井	天井高	備 考
1 階	玄関	磁器質タイル貼 100角	コンクリート直均し下地	磁器質タイル	H=100	石膏ボードt=12.5 ビニールクロス貼	石膏ボードt=9.5 ビニールクロス貼	2,400~2,600	下足棚
		木質系複合フローリング	構造用合板 t=12 下地	木製巾木	H=60	同 上	同 上	2,400	
	廊下1	同 上	同 上	同 上	H=60	同 上	同 上	2,400	収納棚
	和室	畳敷き	同 上	畳寄せ	---	石膏ボードt=12.5 珪藻土塗壁	同 上	2,400	押入
	LD	木質系複合フローリング	同 上	木製巾木	H=60	石膏ボードt=12.5 ビニールクロス貼	同 上	2,400	LD飾り棚・LDカウンター
	台所	同 上	同 上	同 上	H=60	同 上 / 一部キッチンパネル	同 上	2,400	システムキッチン
	洗面脱衣	長尺塩化ビニルシート貼	同 上	同 上	H=60	耐水石膏ボードt=12.5 ビニールクロス貼	同 上	2,400	洗面カウンター
	浴室	ユニットバス							
2 階	WC1	長尺塩化ビニルシート貼	構造用合板 t=12 下地	木製巾木	H=60	石膏ボードt=12.5 ビニールクロス貼	石膏ボードt=9.5 ビニールクロス貼	2,400	洋風大便器
	寝室	木質系複合フローリング	構造用合板 t=12 下地	木製巾木	H=60	石膏ボードt=12.5 ビニールクロス貼	石膏ボードt=9.5 ビニールクロス貼	2,100~3,000	
	WCL	同 上	同 上	同 上	H=60	同 上	同 上	2,100~2,400	洋服収納
	納戸	同 上	同 上	同 上	H=60	同 上	同 上	2,400	
	洋室1・2	同 上	同 上	同 上	H=60	同 上	同 上	2,100~3,000	CL
	WC2	長尺塩化ビニルシート貼	同 上	同 上	H=60	同 上	同 上	2,100~2,400	洋風大便器
共通	廊下2	木質系複合フローリング	同 上	同 上	H=60	同 上	同 上	2,100~3,000	洗面カウンター
	階段	集成材 t=30 オイルステイン塗装		---		同 上	同 上	—	

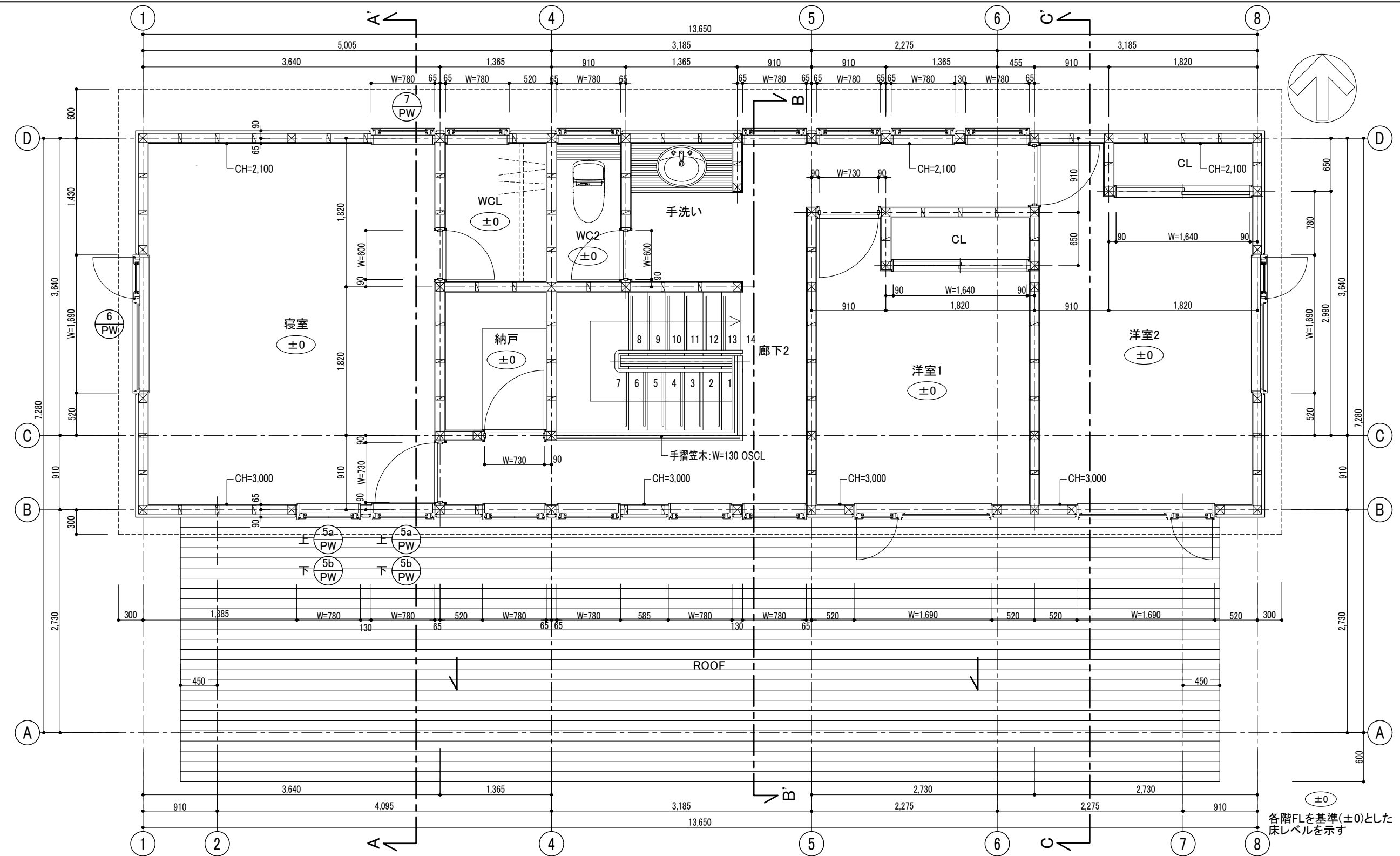


2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験

図面名 1階平面詳細図 建具案内図

縮尺 1/50

NO. 2 / 7



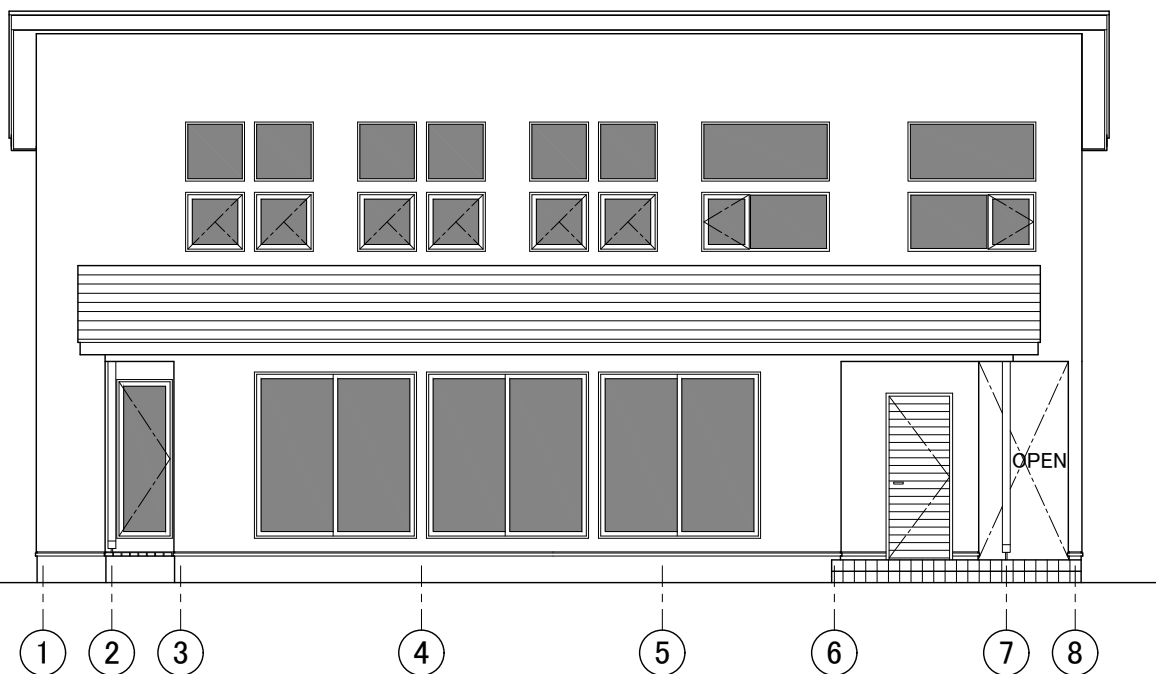
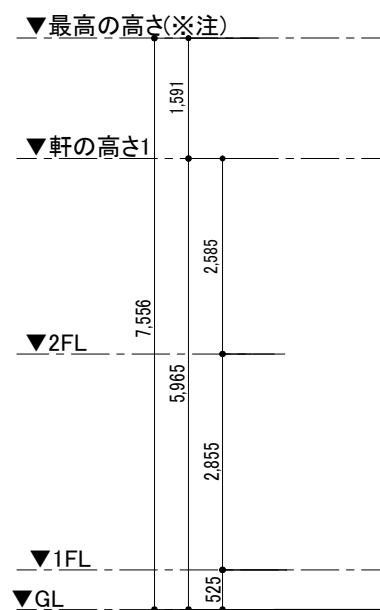
各階FLを基準(±0)とした床レベルを示す

2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験

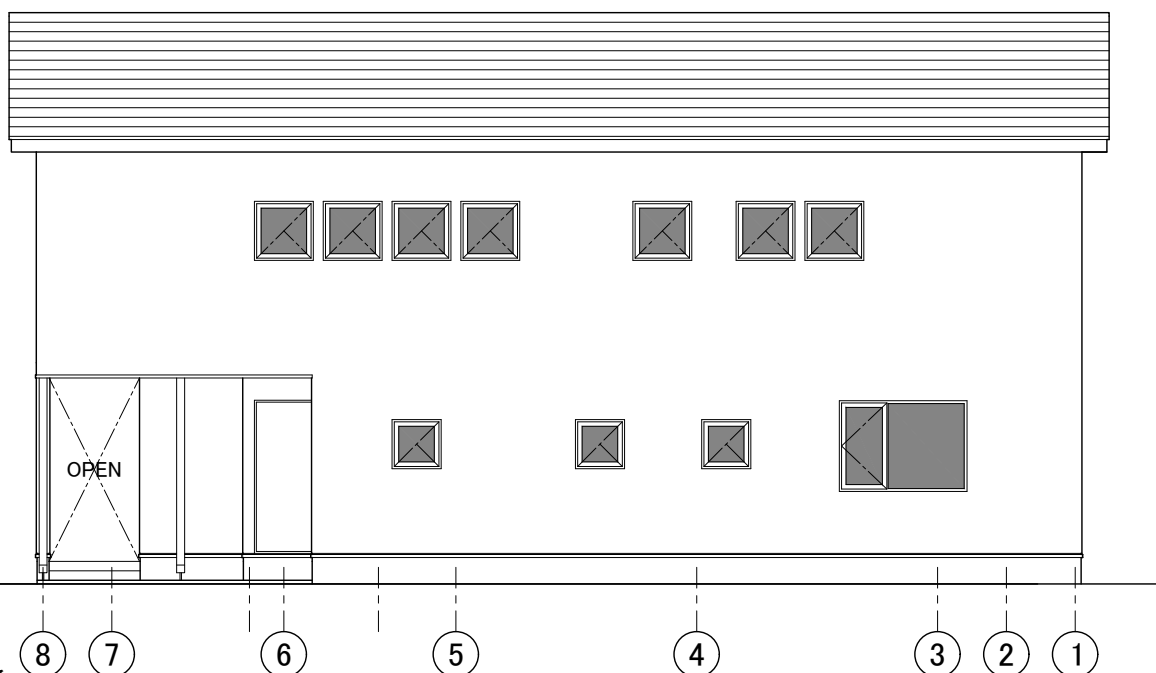
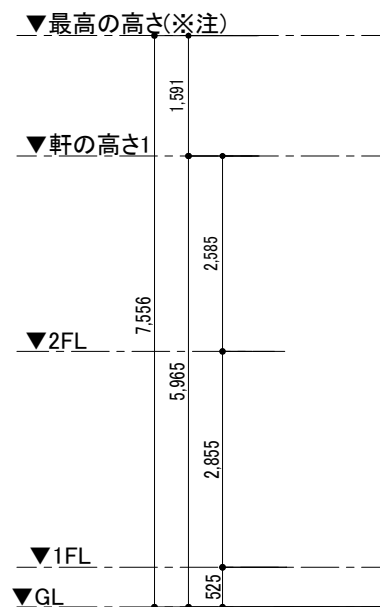
図面名 2階平面詳細図 建具案内図

縮尺 1/50

NO. 3 / 7

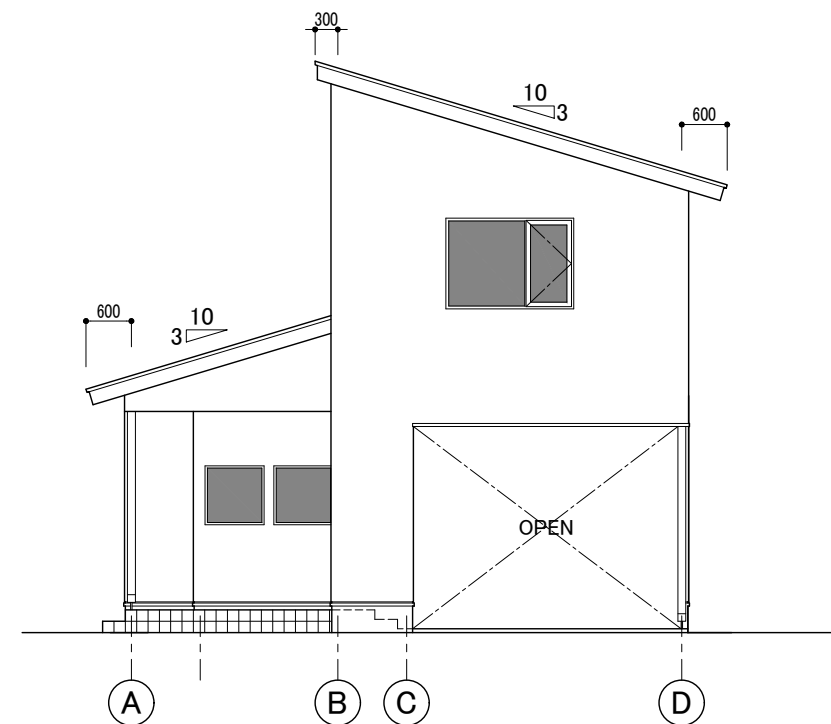


南側立面図

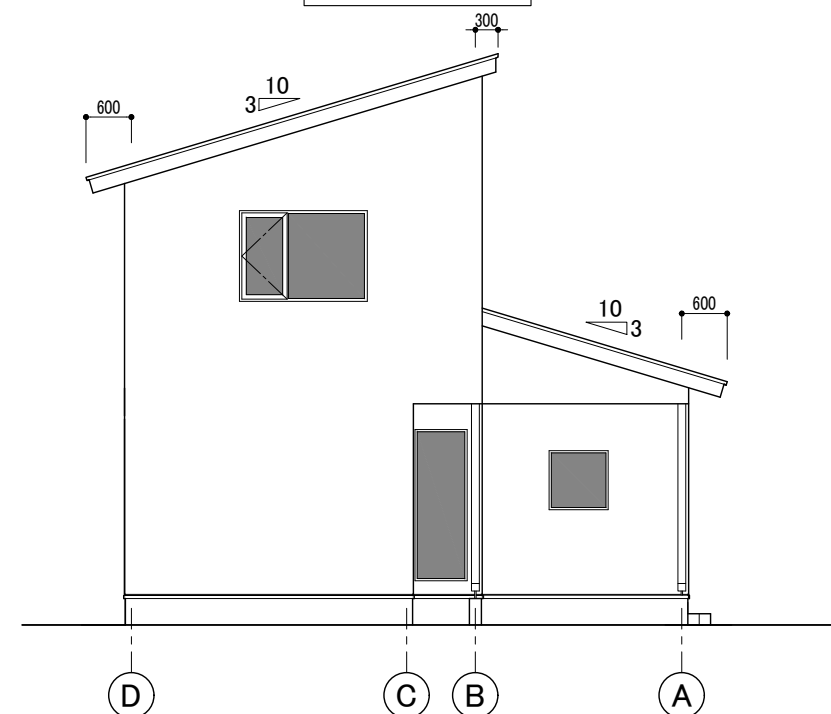


北側立面図

※注  
「最高の高さ」は小数点以下第1位を  
四捨五入して表記したものである  
基準高さはこの寸法値で表記するものとする  
屋根の作図については「断面図・詳細図」の  
「屋根詳細図」を参照のこと



東側立面図



西側立面図

2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験

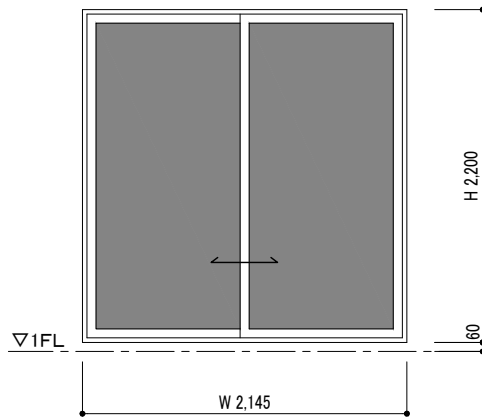
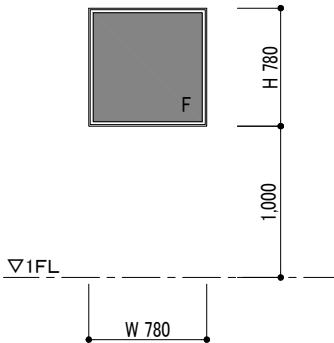
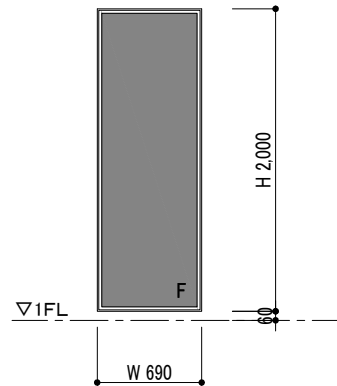
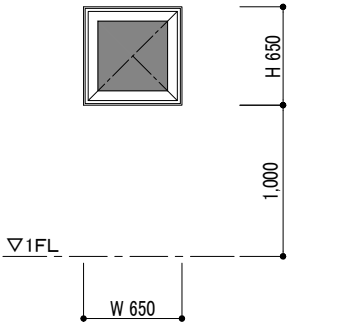
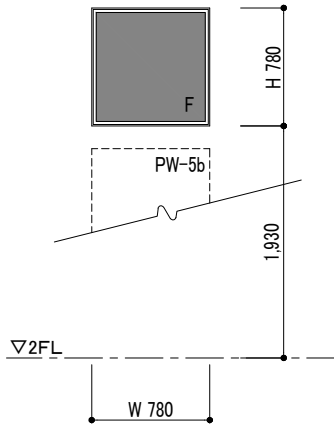
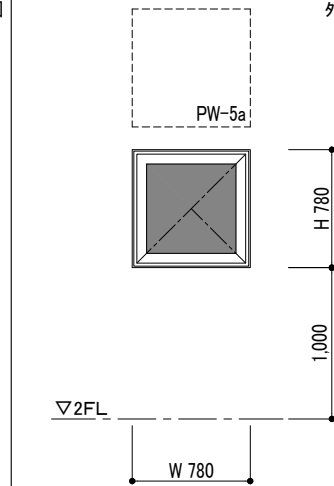
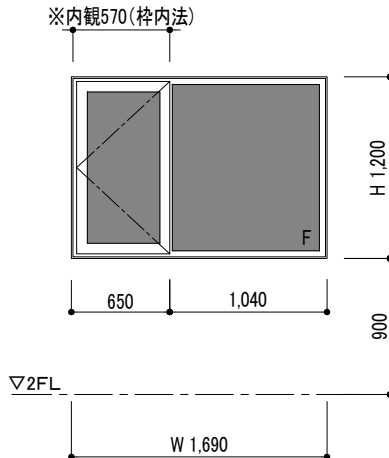
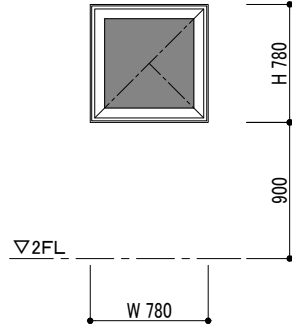
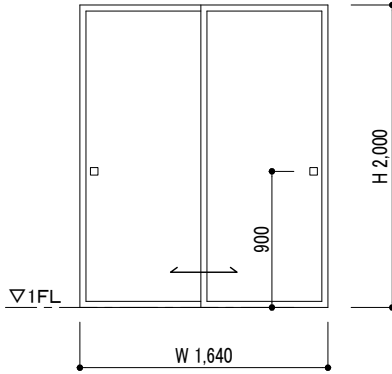
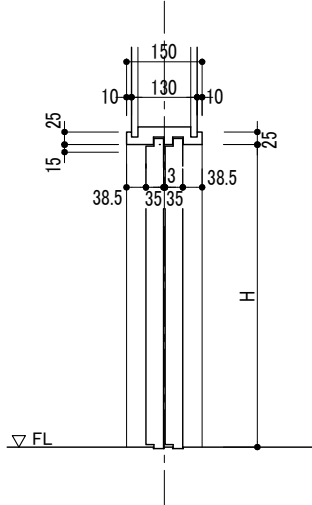
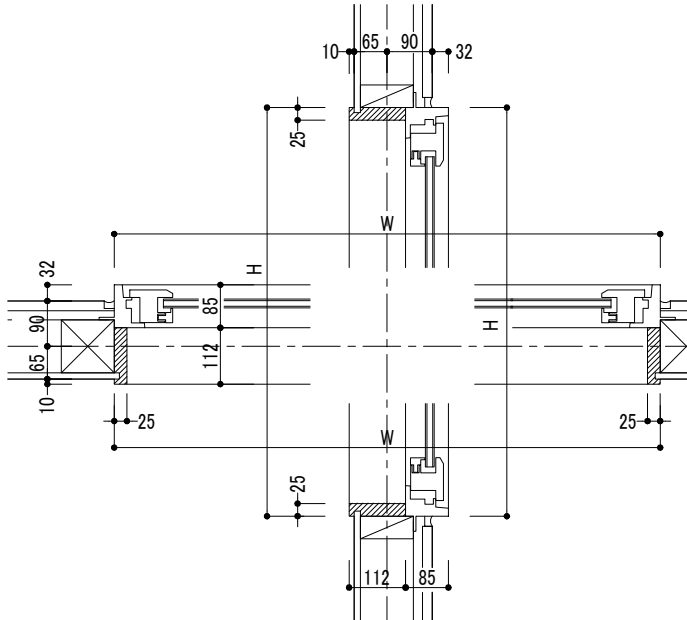
図面名 立面図

縮尺 1/100

NO. 4 / 7

<div data-bbox="117 92 274 125" data-label="Caption">B-B' 断面図</div> <div data-bbox="1355 92 1429 125" data-label="Text">1/100</div> <div data-bbox="90 160 1421 871" data-label="Figure"> <p>▼最高の高さ(※注) ▼軒の高さ1 ▼2FL ▼1FL ▼GL</p> <p>※注 「最高の高さ」は小数点以下第1位を四捨五入して表記したものである 基準高さはこの寸法値で表記するものとする 屋根の作図については「断面図・詳細図」の「屋根詳細図」を参照のこと</p> </div>	<div data-bbox="1470 92 1662 125" data-label="Caption">LD飾り棚詳細図</div> <div data-bbox="2582 92 2656 125" data-label="Text">1/50</div> <div data-bbox="1511 131 2568 962" data-label="Figure"> <p>平面詳細図 姿図 a-a'断面図 b-b'断面図</p> <p>※注 寸法表記の「A・B・C」は各々が同一寸法であることを示す</p> <p>部分詳細図 1/20</p> </div>
<div data-bbox="104 977 246 1010" data-label="Caption">屋根詳細図</div> <div data-bbox="1374 977 1448 1010" data-label="Text">1/20</div> <div data-bbox="139 1029 1366 1644" data-label="Figure"> <p>軒の出寸法 600 軒の高さ1・2(共通) ※注 屋根は下図の「タル木基準点」に、タル木の下端を合わせて作図すること。 タル木基準点 (柱芯と水下側桁上端の交点)</p> <p>軒先 頂部</p> </div>	<div data-bbox="1470 977 1668 1010" data-label="Caption">廊下収納棚姿図</div> <div data-bbox="2156 977 2230 1010" data-label="Text">1/50</div> <div data-bbox="2230 977 2450 1010" data-label="Caption">LDカウンター姿図</div> <div data-bbox="2595 977 2669 1010" data-label="Text">1/50</div> <div data-bbox="1448 1029 2642 1609" data-label="Figure"> <p>廊下収納棚姿図 LDカウンター姿図</p> <p>W=3,510 CH=2,400 カウンター 集成材 t=30 CL 断面図</p> </div>
<div data-bbox="153 1698 831 1734" data-label="Text">2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験</div>	<div data-bbox="1498 1682 1854 1734" data-label="Text">図面名 断面図・詳細図</div> <div data-bbox="2175 1682 2376 1754" data-label="Text">縮尺 1/100・1/50 1/20</div> <div data-bbox="2403 1682 2587 1754" data-label="Text">NO. 5 / 7</div>



記 号	1PW	LD	2PW	LD	3PW	LD	4PW	廊下1	5aPW	寝室・廊下2	5bPW	寝室・廊下2	
													
	形状		形状		形状		形状		形状		形状		
	種 別		種 別		種 別		種 別		種 別		種 別		
	仕 上		仕 上		仕 上		仕 上		仕 上		仕 上		
	硝 子		硝 子		硝 子		硝 子		硝 子		硝 子		
金 物		金 物		金 物		金 物		金 物		金 物			
備 考		備 考		備 考		備 考		備 考		備 考			
記 号	6PW	寝室・洋室2	7PW	寝室・WCL・WC2・廊下2	1WD	和室	内部建具詳細図 1WD 1/15		外部建具(樹脂サッシ)詳細図 1/15				
													
	形状		形状		形状		形状		形状				
	種 別		種 別		種 別		種 別		種 別				
	仕 上		仕 上		仕 上		仕 上		仕 上				
	硝 子		硝 子		硝 子		硝 子		硝 子				
金 物		金 物		金 物		金 物		金 物					
備 考		備 考		備 考		備 考		備 考					
2次元CAD利用技術者試験1級(建築)実技試験						図面名 建具表・建具詳細図				縮尺 1/15・1/50		NO. 7 / 7	